

# 教育会だより No.3

## < 定期総集會特集 >

### 諏訪教育会本年度テーマ

5月19日(土)、諏訪市文化センターにおいて、平成30年度 諏訪教育会定期総集會が開催されました。大勢の会員の先生方にご参集いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

午前の研修講座では、8つの研修会場で、今後の実践につながる体験型の研修や、宮坂昌一先生による先輩の研究発表が行われました。また、研修講座に引き続き、会員によるすばらしい歌声の発表も行われました。午後の季節大学会では、生物学者の福岡伸一先生を講師にお迎えし、「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」と題したお話をお聞きすることができました。昨年度以上に多くの一般の方々にも聴講いただき、福岡先生の魅力に引き込まれる大変有意義な時間となりました。

総集會・季節大学会の詳しい様子については会誌や会報、諏訪教育会ホームページ等に掲載されますのでご覧ください。

#### 会長挨拶(抜粋)

(平成30年度 諏訪教育会長 林 満彦)



風薫る五月が後半となり、諏訪の山々の緑が深まりを見せ始める季節となりました。明治15年に設立された「諏訪教育会」も、年を重ねるごとにその活動を深め、今年度は137年目を迎えるとともに、公益社団法人として7年目に入りました。諏訪教育会の精神と伝統を受け継ぎ、さらに発展させてられました諸先輩の皆様、そしてご来賓の皆様のご臨席を賜り本日ここに「平成30年度 諏訪教育会 定期総集會」を開催できますこと、誠に喜ばしく、心より感謝申し上げます。本年度の諏訪教育会の出発にあたり、こうして諸先輩の皆様方にご指導、ご助言をいただけますことに会員を代表し厚く御礼申し上げます。

諏訪教育会は、自己、教育、人間のあり方を問い続ける中で、いつでもその時代の課題に真摯に向き合い、その解決に向けて誠意と熱意をもって取り組んで来られた先輩の方々によって発展の道歩んでまいりました。そして、その歩みの中で、諸先輩は、未来の学びまで見据えて、多くのものをつくり出してくださいました。「諏訪教育会百年の歩み」という記念誌、先ほどこの会場で高らかに歌い上げられた「諏訪教育会百周年記念讃歌 今諏訪」、そして、諏訪教育博物館は、創立百周年の時につくられたものです。こうした書籍や歌にふれたり、博物館を訪れたりするを通して、諸先輩のたゆまぬ探究心や諏訪教育会に対する熱い思いを感じ取り、その心を、今度は私達が次の未来へとつないでいかなければなりません。

子どもたちを中心に据え、自発的な問いを仲間と共有しながら、様々なものや活動をつくり上げていくことは、諏訪教育会の大きな魅力であり、喜びではないでしょうか。

今年度の諏訪教育会テーマは「より据える より開く より深める」を継続させ、サブテーマとして「未来を見据え 共に学ぶ」を位置づけました。自発的な問いを持つ仲間が集う。そして、子どもたち、地域、自分自身の未来を見据え、共に学ぶことは、真に専門性と人間性を向上させていく上で欠かせません。諏訪教育会は、自発的な職能団体として、先生方の主体的な学びを支える活動を一層展開してまいります。

このテーマを受け、今年度の具体的な活動として、創立百周年において諸先輩がつくり上げてくださった諏訪教育博物館を軸にした活動を考えております。各部が博物館に関わる活動を展開し、子どものよさを中心に据え、各部の活動への理解を深め、教職員や子ども、地域の皆さんに、子どものよさや教育会の活動を発信して開いていく。教育博物館を会員の協力のもとで、内に開き、外に開くキーステーションにしていきたいと思っております。諸先輩がつくり上げてくださったものを活かしながら、私達自身が、諏訪教育会の根本として伝わってきたものは何かを問い続ける。そして、自分なりの考えをもち、様々な活動を通して次の世代へ伝えていくべきことをつかんでいく。この思いを共有しながら、平成30年度の諏訪教育会の活動を全員の力で充実させていきたいと思います。

## 研修講座の様子

<b>&lt;国語委員会&gt;</b> 	<b>「俳句をつくらう楽しもう」</b> 県俳人協会会長の金子正昭先生を講師に迎え、俳句づくりを学びました。 ・自分以外の先生の作品をみることで、こんな書き方もできるのだと刺激を受けました。 ・素人でも考えて作品を作り、作品を交換して先生方の言葉の表現のおもしろさや上手さを感じ、言葉を考えることの楽しさを体験することができました。 ・教室でも俳句を作る機会がありますが、どう指導し評価してよいのか困ることがありました。今回専門の俳人の方の講評を聞き、大変参考になりました。
<b>&lt;図工・美術委員会&gt;</b> 	<b>「わくわくアート」ずこう・びじゅつって楽しいね！！</b> カラフルな紙コップを材料に、造形遊びを楽しみました。 ・紙コップを使ったワークショップは身近にあるものを教材にするという面で非常に参考になりました。とてもすばらしい教材であることがわかりました。 ・身近な材料がものすごくたくさんあることで、わくわくし、新しい発見をしながら活動することができました。ぜひ材料の貸出を活用したいと思います。 ・簡単に集められそうな材料で頭や心を使って製作できることにとても興味を持ちました。大人でも夢中になったので、子どもにとっても楽しむことができそうです。
<b>&lt;体育・保健体育委員会&gt;</b> 	<b>「すぐに役立つ！心も体もほっかばか！！体づくり運動～子どもになったつもりで、体を動かす楽しさを感じよう～」</b> 県体育センターの服部大輔専門主事を講師に、体づくり運動を楽しみました。 ・学年や学級のレクなどでも人間関係づくりやクラスづくりに使えるようなことがたくさんあったので、応用して色々やってみたいと思いました。 ・始めは不安でしたが、とても楽しく参加でき、授業の導入にも生かそうと勉強になりました。 ・やっているとは自然と笑顔になれ、どれもとても楽しかったです。クラスで子どもたちみんなでもやってみようと思います。
<b>&lt;英語・外国語委員会&gt;</b> 	<b>「明日から使える！"ALTとの簡単なSmall Talk"～小学校での英語ってどんなことやるの？～」</b> 県総合教育センターの牛山真弓専門主事を講師に、小学校英語について学びました。 ・実演を交えての活動がとてもわかりやすく参考になりました。とてもよい経験になりました。 ・自分が英語に不慣れなので、戸惑いながら英語の授業を進めてきましたが、今回の講座を受講させていただくことで、一時間の授業をどのように進めていけばいいのかイメージを持つことができました。 ・模擬授業をやっていたので、具体的な英語の授業をイメージすることができました。明日からすぐに使えるような表現や掲示物など役立つこともたくさんあったので有り難かったです。
<b>&lt;道徳委員会&gt;</b> 	<b>「一緒に悩もう「道徳科」」</b> 道徳の定番資料やよく知られた資料を使って授業づくりや教材研究をしました。 ・1つの資料についてグループの先生方が様々な視点で、発問やキーワード、考えさせたいことなどを話し合い、こんなにいろいろなやり方があるんだと道徳の楽しさと難しさを感じる事ができました。 ・各校の道徳の教科化に向けた取組を聞くことができ、たいへん有意義な時間になりました。 ・教科化に伴い、様々な授業形態を模索中ですが、今日あらためて資料の読み込みを大切にしたいなあと思いました。
<b>&lt;健康教育委員会&gt;</b> 	<b>「一緒に学ぼう！がん教育～命を大切に作る心を育む健康教育～」</b> 日赤病院の進士明宏先生と県保健厚生課の鈴木亜希子指導主事を講師に、がん教育について学びました。 ・がん教育を扱うことの大切さを感じました。正しく理解することで自分自身も、また回りのがん患者さんも偏見なくがんに向き合うことができるのだと思いました。 ・ハイットスクールの取組のお話には胸がつまりました。がん教育に取り組んでいかなければと思いました。 ・お二人の先生のお話から、がん教育は必要なもので進めていかなければならないと感じました。
<b>&lt;環境教育委員会&gt;</b> 	<b>「違いをわかりあえる関係に～シェアリングネイチャー体験を通して～」</b> 体を動かしながら自然をたっぷりと感じ合いました。 ・原っぱに寝転ぶことで普段では感じることのできない太陽のぬくもりや自然のにおいを体験することができました。 ・初めて会った先生なのに、友だちになれた感じがしました。大人どうしてもこんなに盛り上がるので、クラスでもやって思いっきり遊びたいです。 ・心も体も開放され、子どもの気持ちに近づけたと思います。日頃の授業でも、もっともっと子どもの気持ちに寄り添って楽しみながら夢中になれるように考えていきたいです。
<b>&lt;先輩の研究発表&gt;</b> 	<b>「子どものキラッと輝く姿を見つめて～心に燦を～」</b> わかは保育園長宮坂昌一先生から園全体で取り組む様々な活動について紹介していただきました。 ・宮坂先生の実践から、本物に触れ子どもたちの声を聞くことのすばらしさを学びました。 ・教師として子どもたちに接する際に意識しておくべきことをとてもわかりやすい視点で話してくださり、勉強になりました。 ・幼児のことばや目の輝き、行動の裏にある思いを受け取る感性を、私自身が身につけていくことを忘れないでいきたいと思いました。



研究会のポスターセッション



音楽発表

